

CURE & CARE

透析センターの装置を新しくしました

診察室2を
リニューアル
しました

CONTENTS

- ◆ 理事長あいさつ
磯野 倫夫 理事長
- ◆ リハビリの物理療法
- ◆ 透析センターNEWS
・透析装置の入替
・レオカーナを用いた血液浄化
- ◆ 施設紹介
デイケアセンターみつばち
- ◆ リハビリ部門紹介
各務原リハビリテーション介護医療院



令和6年度、春のご挨拶

磯野 倫夫

医療法人社団 誠道会 理事長
社会福祉法人 成光会 常務理事

令和6年度、春のご挨拶をさせていただきます。

医療・介護・障害福祉における一番の話題は「トリプル改定」と思われます。その内容はさておいて、皆さま、6月からの保険請求に向けてお忙しい日々をお過ごしのこととお察しします。医療は地域にとって重要な基盤の一つと考えます。そのことはCOVID-19の流行で明確になりました。今後、地域において重要な基盤を維持することが可能な改定となることを切に望みます。

2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上となり、人類史上まれにみる人口ピラミッドの日本が16年先に近づいています。「老いては子に従え」との諺がありますが、これは本来、儒教の「子どもの頃は親に、結婚してからは夫に、老人になったら子どもに」従うよう女性に勤める教えだったそうです。江戸時代の初めごろには最後の部分のみを、主に男性に使うようになったそうで、現在では性別を問わず使うようになりました。日本の後期高齢者の子供の多くは壮年期から老年期です。一方の親である後期高齢者ですが、この年齢の方々は非常にお元気な方が多く、十分現役で働けることが出来ます。しかし、リーダーの立場で働くといろいろな軋轢を生むこととなります。子供のやる気がなくなってしまう、それでは困ります。その為に働き方改革が必要だと思われます。それでは、日本が行っている働き方改革はどうでしょうか。私には、労働時間を減らすことに主眼を置いているように思われます。果たしてそれが働き方改革なのでしょう。この改革は、「労働者は善、経営者は悪、だから行政は労働者を守らなければいけない」とのステレオタイプの改革にしか思えません。若い体力のある人はバリバリ働くことが出来る様に、高齢者は自分の体をいたわりながら働ける様に、きめの細かい働き方改革をお願いしたいと思います。

今後は外国の人に頼るだけでなく、まずは日本人自らの改革が必要だと感じました。





リハビリテーション・物理療法

各務原リハビリテーション病院 外来・訪問リハビリ部門

各務原リハビリテーション病院 外来リハビリ部門では、回復期から生活期・慢性期の患者様の身体機能・ADL向上のため、運動療法と物理療法を併用したリハビリを行っています。物理療法は、疼痛や筋緊張の緩和などを図ることで身体の動きが円滑になり、その後の運動療法の効果を高めることができます。そこで、当院で実施している物理療法をご紹介します。

ホットパック（温熱療法）

症状の原因となる部位を温め、血行の促進や組織（筋肉など）の伸張性を改善し、疼痛緩和や筋緊張緩和を図ります。

適応

- ・慢性疼痛（関節痛、腰痛 など）
- ・筋緊張の緩和

効果

- ・疼痛の緩和
- ・血行の促進
- ・組織（筋肉など）の伸張性改善

電気刺激療法

主に脳卒中後の麻痺や慢性疼痛の症状に対して行っています。電気刺激により疼痛の緩和や筋収縮を促します。

適応

- ・脳卒中後の麻痺
- ・慢性疼痛（腰痛、末梢神経痛 など）

効果

- ・疼痛の緩和
- ・筋力強化

体外衝撃波治療

衝撃波の特性を生かし、疼痛の緩和や痙縮の抑制を図ります。衝撃波には収束型と拡散型の2種類があり、当院では拡散型衝撃波治療器を使用しています。

適応

- ・脳卒中後の痙縮
- ・運動器疾患後の疼痛

効果

- ・疼痛の緩和
- ・筋緊張の緩和

ホットパック（温熱療法）



電気刺激療法



体外衝撃波治療



※物理療法の実施には、医師の指示が必要になります。



透析リハビリセンターからお知らせ

各務原リハビリテーション病院 各務原リハビリ透析センター

透析装置を更新しました！

平成23年1月に各務原リハビリテーション病院が創立され、同時に各務原リハビリ透析センターとして開設されました。現在、13年目を迎えており、長年使用してきた装置装置を更新し、2月12日より新たなスタートを切りました。

新しい装置の特徴として、まず透析装置全台（27台）がオンラインHDFとi-HDFに対応できるようになりました。オンラインHDFとは、血液透析に補液と濾過を大量に行うことで、通常の血液透析では除去しきれない分子量の大きな物質の除去が可能となります。血圧低下予防や掻痒感、ムズムズ脚症候群、透析アミロイド症等の合併症の予防など、より多くの患者様の状態に合わせた治療の選択が可能となりました。

次にBV計も全台に装着されました。血液回路に特殊なレーザー光を照射することで、体外循環血液量等をモニタリングし脱血不良状態の早期発見やバスキュラーアクセス（シャント）再循環の測定、動脈側・静脈側穿刺の誤接続の検知が可能です。そして装置に内蔵されている血圧計は、腕の締め付け時間が短い（直線加圧測定方式血圧計）方式のものに変わりました。

また、血液回路も新しくなりました。特徴としては、メインチューブの細径化や回路構造の簡略化、空気との接触面積を減らすなど、体外循環血液量を少なくする事で患者様の負担を低減します。回路を簡略化する事で、外箱の小型化、医療廃棄物の低減にもつながります。

当センターでは、医師、看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、管理栄養士など多職種が連携し、患者様が安心して質の高い透析治療が受けられるようにスタッフ一同努めていきます。



レオカーナを用いた血液浄化による閉塞性動脈硬化症の治療

昨年9月より当院透析センター初となる、レオカーナ（吸着型血液浄化器）を用いた血液浄化療法を行いました。閉塞性動脈硬化症の患者様に対し、透析と同じように血液を体外循環させ特殊な吸着器（レオカーナ）に通すことで、LDLコレステロールやフィブリノーゲンを吸着し血液の流れを改善することを目的とします。その結果、下肢末梢へ血液が循環しやすくなり、重症化した潰瘍や壊疽の治療が期待できます。

当院では、長年の透析により下肢動脈が高度石灰化し動脈再建治療が困難な患者様に対して、治療を行いました。1回約2時間の治療を週2回、それを12週間の計24回の治療で1クールとなります。週3回の透析と合わせると週5回の治療となり、患者様の体力的な部分も懸念されます。また特殊な吸着器に血液を通すためアレルギー反応や血圧低下をきたしやすく難しい治療となりましたが、患者様の頑張りもあり1クールを無事に終了することができました。治療結果は腫瘍の完治までとはなりませんでした。約5mm²の潰瘍が約3mm²に縮小し改善が見られました。

また、当院透析センターでは毎月1回のフットチェックを行い、患者様の下肢病変の早期発見と予防に努めています。閉塞性動脈硬化症は下肢腫瘍の悪化や壊疽に至りやすく、患者様の予後に大きな影響を与えます。そのため今後もスタッフ一丸となって患者様の下肢病変の早期発見・予防・治療に取り組んでいきたいと思っております。

治療対象

外科的治療が困難な潰瘍を有する閉塞性動脈硬化症

効果・目的

LDL及びフィブリノーゲンの吸着除去による血液流動性の改善により、閉塞性動脈硬化症の末梢血液循環の改善による難治性腫瘍の治療

レオカーナ治療Q&A

治療の時間はどれくらいですか？

1回約2時間ほどの治療となります

治療回数はどれくらいですか？

3ヵ月に24回が保険適応になりますので、週2回を12時間、合計24クールが1クルールの治療となります。

他院で処方されている薬はそのまま飲んでも大丈夫ですか？

一部禁忌となる薬がありますので主治医にご相談ください。

治療中に痛みはありますか？

治療自体に痛みはありませんが血液体外循環用に注射針を2本穿刺しますので、その際に痛みが生じることがあります。



住み慣れた自宅で、その人らしい生活を
続けていくために…

デイケアセンターみつばち

デイケアセンターみつばちのご紹介

利用方法は2種類！
半日と1日

デイケアセンターみつばちでは、リハビリ専門スタッフが医師の指示のもと、利用者様の身体機能や生活環境、目標に合わせて、リハビリテーションを実施しています。

また専門職が関わるリハビリ以外にも、身体を動かしたり、頭を使ったり等、目的を考えながら計画を立て、リハビリ要素を含んだレクリエーションも実施しています。

身体機能の回復・維持のためのリハビリ以外にも、入浴支援や社会交流を持っていただく場として、利用者様の思いや目標に寄り添いながら支援しています。



プレミアムジム

半日利用のみ

プレミアムジムって何？

木で出来た馬蹄型のベースと2本のバーを組み合わせて利用するリハビリテーション器具で、関節の可動域訓練や、筋力・筋持久力の運動を目的とした運動です

効果

- ・関節可動域の維持や向上
- ・上下肢の筋力の維持や向上
- ・筋持久力の維持や向上

利用者様の声

- ・身体が軽くなった
- ・全身の運動ができて楽しい
- ・座ってできるから安心
- ・身体が伸びて気持ち良い
- ・麻痺側を動かせる



個別リハビリ

サービス内容

各利用者様の身体状況や生活に合わせたリハビリを理学療法士または作業療法士が1対1で20分実施しています。



レクリエーション

1日利用のみ

サービス内容

リハビリスタッフや介護スタッフが考えた、頭や身体を使ったレクリエーションを午後から実施しています。また、季節に合わせた内容も取り入れています。(クリスマス会、すごろく等)



体操

サービス内容

朝はラジオ体操、午後からは動画を用いて集団で手足を動かしたり、頭を使った体操を実施しています。





鷺沼
セーフティー
ネット
Work Together



“やりたい”という思いを大切にし、 その人らしい生活が送れるように

各務原リハビリテーション介護医療院 リハビリ部門

介護医療院では、医師を中心としたケアチームの活性化を図り、その人らしい生活の場として、医療と看護・介護・リハビリテーションの総合的な提供に努力いたしております。

介護医療院のリハビリスタッフは作業療法士、理学療法士、言語聴覚士が在籍しており利用者様のリハビリを行っています。

病院でのリハビリは自宅に帰ることを主に想定してリハビリを行います。介護医療院でのリハビリでは、施設が利用者様の生活の場となるため、生活に必要な動作の獲得や介助量の軽減、身体機能・認知機能の維持を目的にリハビリを行います。

リハビリの介入回数は利用者様ごとに異なり、その方に合わせた内容でリハビリを提供しています。



個別の残存機能に合わせたリハビリ

- 基本動作・歩行動作・ADLが自立している方
身体機能を維持するために、筋力訓練、歩行練習、エアロバイク等を行います。
- 基本動作が自立・ADLに介助が必要な方
日常生活動作ができるように、筋力訓練、日常生活動作練習等を行います。
- 全般的に一部介助が必要な方
基本動作練習、移乗・移動動作練習、日常生活動作練習等を行います。
- ベッド上で生活されている方
可動域訓練、端座位保持練習等を行います。

※すべての利用者様を対象とし
認知機能を維持するために、余暇活動練習を行っています。



筋力訓練



可動域訓練



余暇活動練習
〈書道〉



余暇活動練習
〈編み物〉

実際に生活している場面を直接見ることができ、一番近くで利用者の様子を伺うことができます。そのため、リハビリ以外の時間から利用者様の情報を収集することができ、多職種からの情報により、利用者様個人の状態が把握しやすいです。

在宅生活中はベッドで生活され、ご家族の介護を24時間必要とされていた方でも、介護医療院に入所後は、リハビリを行うことや多職種による支援により、歩行ができるまでに回復され、日常生活動作も自立して行うことができるようになった事例もあります。

生活の質が上がることで、様々なものにも興味を示され、利用者様から「編み物がやりたい」「書道がやってみたい」「囲碁、将棋をやりたい」と言葉をもらい、楽しみながらリハビリを行うことができるように余暇活動練習にも力を入れています。

本人の“やりたい”を大切に、その人らしい生活が送れるように個別のリハビリテーションを提供できるよう心がけています。



各務原リハビリテーション病院

各務原市鵜沼山崎町6-8-2
TEL 058-384-8485
FAX 058-370-1901

地域医療介護連携室

各務原市鵜沼山崎町6-8-2
TEL 058-384-8181
FAX 058-384-8403

うめま在宅支援センター

各務原市鵜沼山崎町6-8-2
TEL 058-385-3310
FAX 058-384-2102

介護相談センター菜の花

各務原市鵜沼山崎町6-8-2
TEL 058-370-6935
FAX 058-384-2102

24時間訪問介護看護あすか

各務原市鵜沼山崎町6-8-2
TEL 058-384-2455
FAX 058-384-2102

各務原リハビリテーション 介護医療院

各務原市鵜沼山崎町6-8-2
TEL 058-384-8399
FAX 058-384-2102

デイケアセンターみつばち

各務原市鵜沼山崎町6-8-2
TEL 058-384-2101
FAX 058-384-2102

訪問リハビリテーション

各務原市鵜沼山崎町6-8-2
TEL 058-384-8399
FAX 058-384-2102

グループホーム菜の花

各務原市鵜沼鵜沼東町6-8-1
TEL 058-379-6205
FAX 058-379-6206

特別養護老人ホーム菜の花

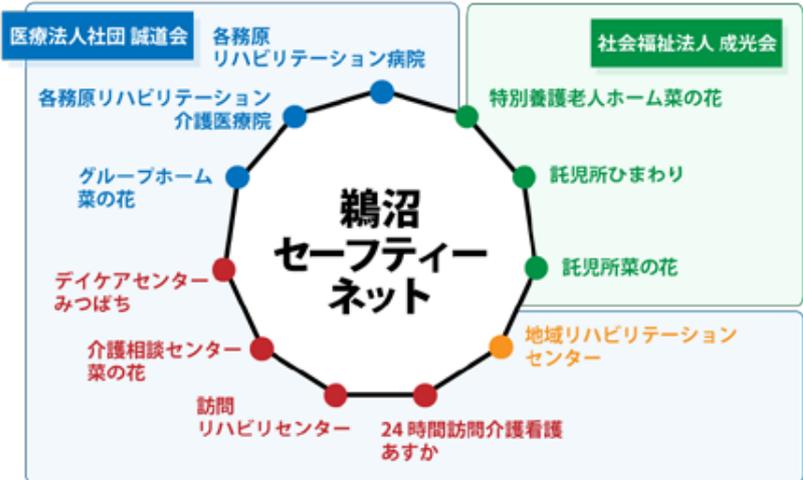
各務原市鵜沼山崎町4-1-1
TEL 058-322-2080
FAX 058-322-2081

託児所ひまわり

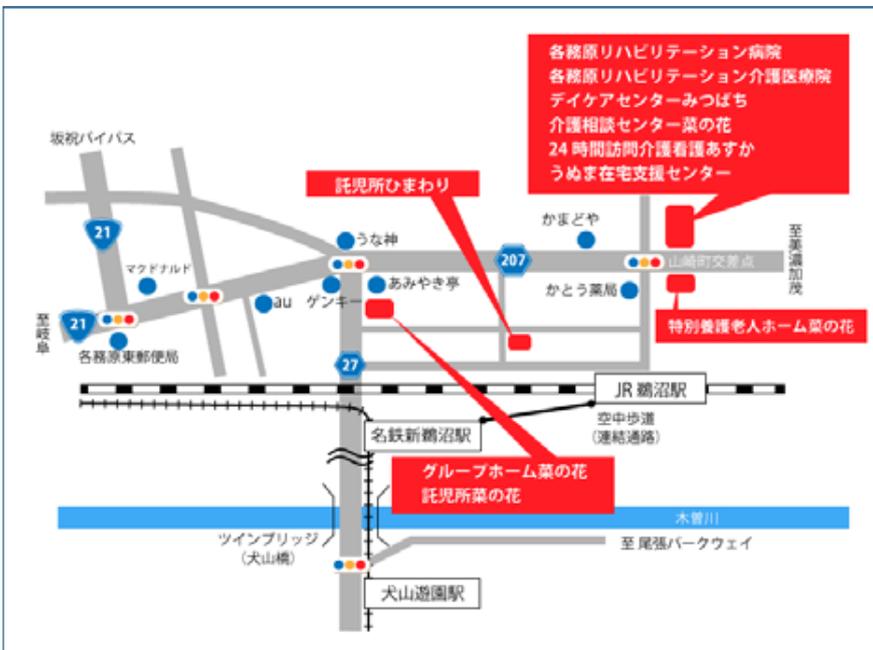
各務原市鵜沼山崎町3-1
TEL 090-5000-0471

託児所菜の花

各務原市鵜沼東町6-10-1
TEL 090-5618-3590



誠道会グループは「鵜沼セーフティネット」を機能させ、地域に根ざした医療と介護を行っています。



交通のご案内

- ◆お車でお越しの方
県道207号各務原美濃加茂線
山崎町交差点東
- ◆バスでお越しの方
各務原市ふれあいバス 鵜沼線
リハビリテーション病院前
- ◆電車でお越しの方
JR 高山本線 鵜沼駅下車
徒歩5分
名鉄各務原線 新鵜沼駅下車 東改札口
徒歩7分
- ◆タクシーでお越しの方
JR 高山本線 鵜沼駅より
タクシーで3分